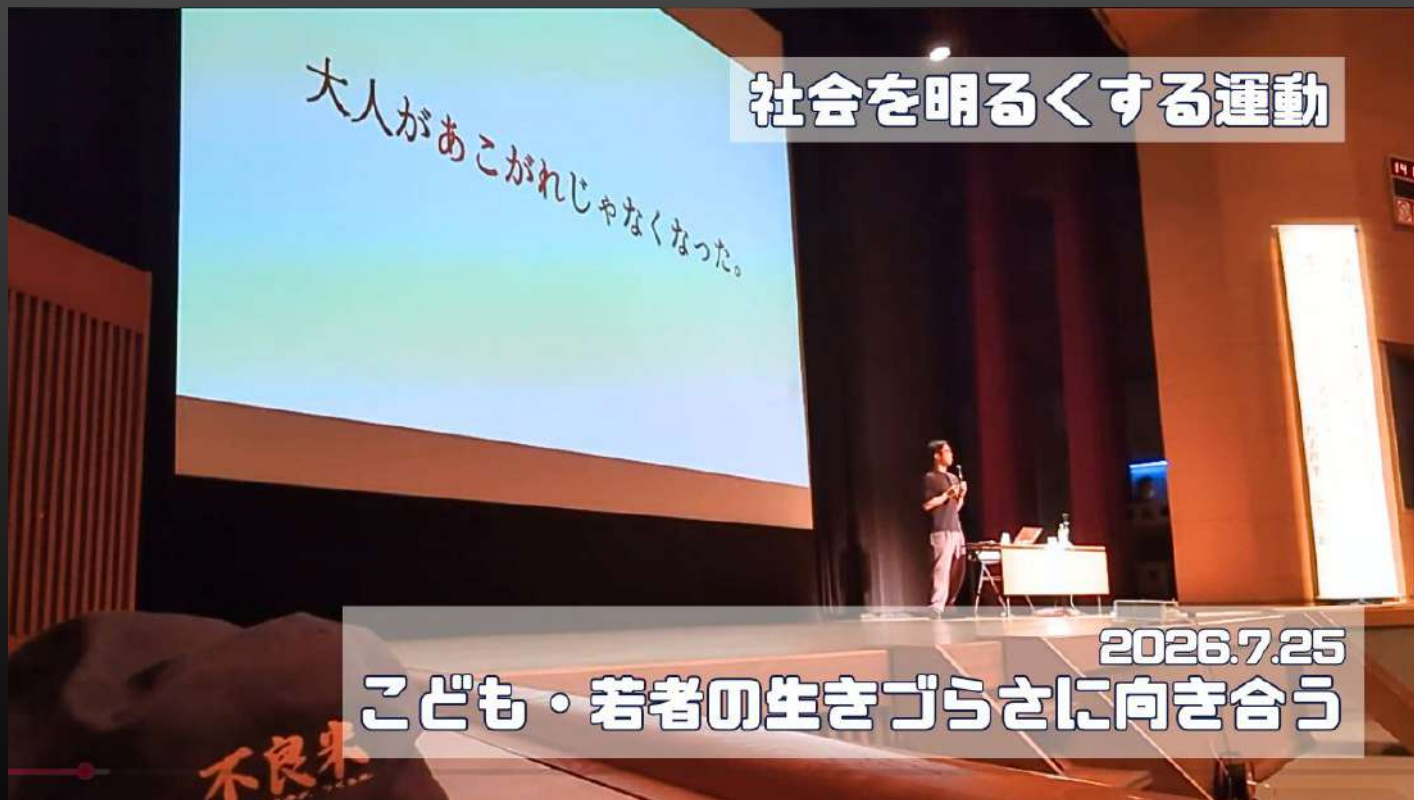


2026.7.25

こども・若者の生きづらさに向き合う ～ 元非行少年と米づくりする心理士の話 ～

スクールカウンセラー
公認心理師 安部 顕

▶ 画像をタップすると動画が見れます



貴重な機会をいただきありがとうございました。

子や孫が
苦労しないで生きていける
もっといい世の中に...



Question

「社会は明るくなった」と...
感じてますか？

あべは感じてます。でも ...

A black and white photograph of a person with long, dark, curly hair sitting on a windowsill. They are looking down, and their hands are clasped together in their lap. The background shows a window with a view of a cityscape. The overall mood is somber and reflective.

一部の若者たちは明るさを感じられていない。

もしかしたら皆さんも ...

Question

今と昔 ...
何がちがう？

あべ's Answer

大人が **あこがれ** じゃなくなった。

昔

こどもにできることは
大人にもできた。



大人はあこがれ
そして指針だった。

今

大人がわからないこと、
できないことが増えた。



こどもはあこがれと
指針を失った。

自己紹介



名前：**安部 顕**（あべ あきら）

年齢：**41歳** @茨城県 with 妻と娘（9歳）

仕事：**研修講師 / カウンセラー / SC**

フリースクール&児童養護施設 非常勤 心理士

資格：**公認心理師 / 教員 / 護身術上級**

こども発達支援研究会講師





だって、
語ってくれる大人
いないもん

人に囲まれてるのに
孤独を感じる子がいる

人がいないことより
人とつながれないことの方が
苦しいかもしれない...

Point

「つながりがない」

ではなく

「**つながれない**」

つながり方がわからない。居場所がない。居場所を作れない。

「居場所」とは、
何でしょうか？





- 1 夕食あります
- 2 ゲームあります
- 3 無料です

毎週土曜日
18:00~21:00に開いています。
15時くらいから
フライング参加もOK

夜のユースセンター

できれば家にいたくない。
仕事終わりに誰かと話したい。
友だちが欲しい。

そんなあなたの
ちょっと一息できる空間。

立川の駅からちょっと離れた
ところにある、
若者のための居場所です。





居場所とは
空間ではなく
「人」である。

言わずに過ごせる**安心感**

何でも言える**信頼感**

少なくとも、どちらかがある関係性のこと。

Point 必要なのは ...

「この人になりたい」という存在



≡ あこがれや指針

「この人になりたい」という人がいれば...

- ① 多少の緊張や不安を越えられる
- ② 社会への不信感が緩和される
- ③ モチベーションも強化される
- ④ つながりを増やす起点になれる

生きづらさが軽減されていく。



@FURYOU.MAI

不良米

元教官と教え子が、つくる米。

「赤は停まれ」を知らない暴走族はいない。



Point

人は正しさでは動かない。

義務や責任では社会は変わらない。

Question

a 明日もらえる5万

b 10年後にももらえる500万

どっちがいい？

大半は b を選ぶ。
でも 明日がもし ...

修学旅行の集金日
受験料の支払い日

だったらどう？



10代のお金は金額以上に重い

Point

こども・若者は対等だけど未熟。

想像してみてください。

孤独や不安を抱えた子に、
ヤクザが「好きなだけ食え」と
ご飯をご馳走したら...



憧れの対象になる。

自分を否定せず、受け入れてくれる存在が
その子にとっての「居場所」になるからです。

「ダメ、ゼッタイ」

この正しいメッセージは、
すべての子どもに届いているでしょうか？

届かない現実

もし、保護者が依存症だったら。

もし、使った後だったら。

逆効果のリスク

「正しいメッセージ」は、

その子たちの孤独を深め…

かえってリスクを高めることがある。

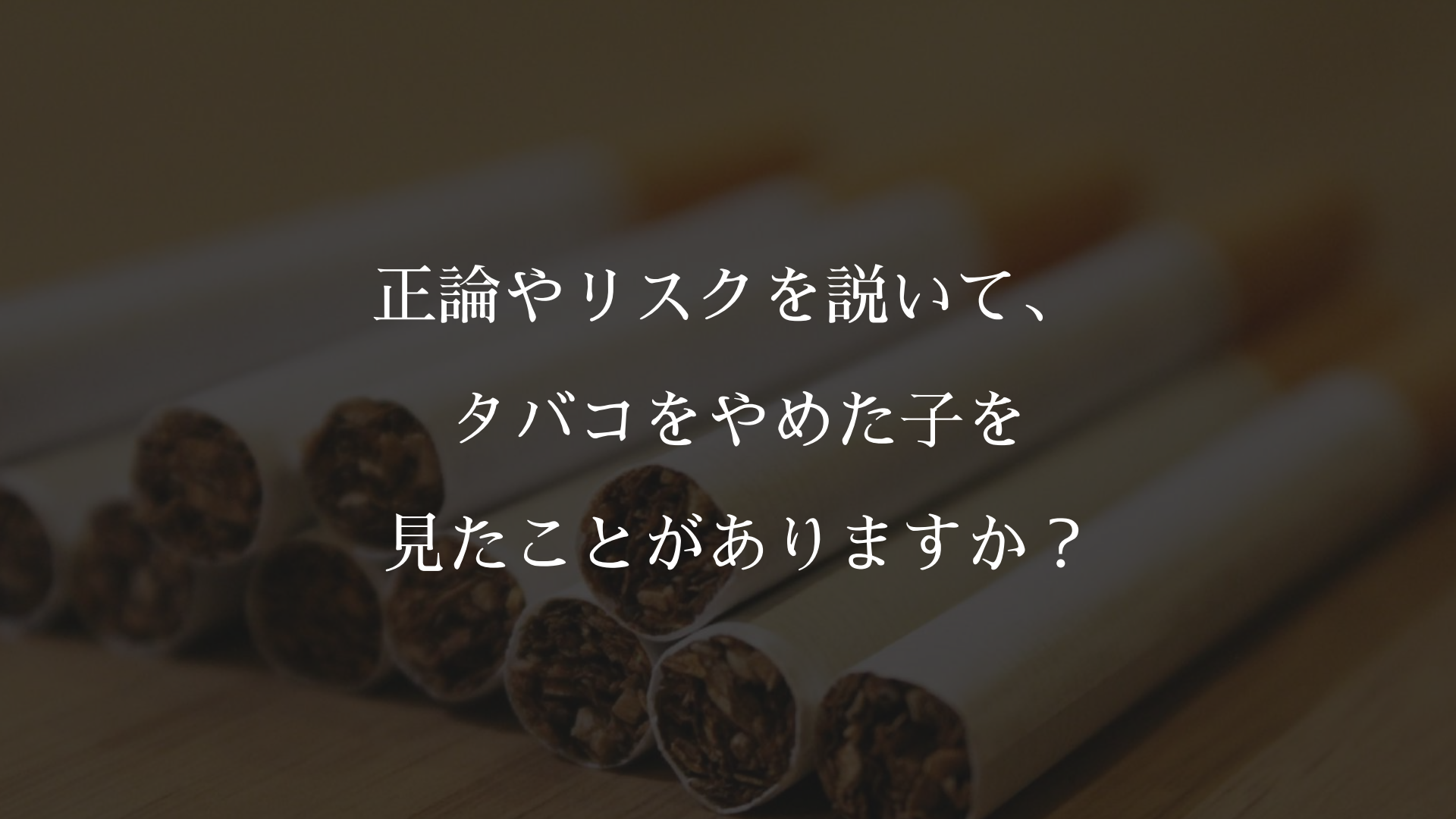
メッセージ自体が悪いわけではありません。

逆効果になる子がいることを知る。

その子たちを受け止められる

「別の存在」が必要です。

正論やリスクを説いて、
タバコをやめた子
を見たことがありますか？



“ 私は一人も見ただことがありません。

それよりも...隣に腰をおろして言葉を交わし、

「こいつの話は聴いておこう」

そう思われる関係性が大切です。

少年院での実践

僕は、
「**反省の強要**」をしませんでした。

対等な言葉のやりとりから
自己理解を深め、健全な生き方を知る
その先にしか本当の反省はないから。



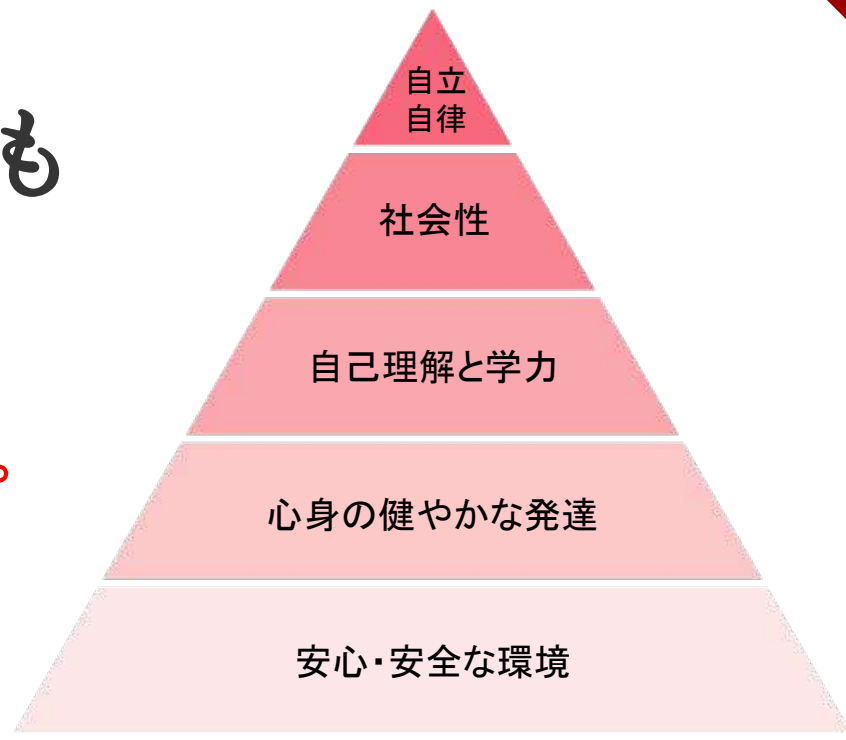
あべが心がけていること

- ① NGワードをつくらない
- ② 正しさを説かない
- ③ 一緒に動く（頼む）

まとめ

相手がどんな子でも
やることは同じ。

留年はあっても飛び級はない。





あなた自身を「居場所」に。

指導者と指導される側ではなく、
街中で隣に腰をおろして語り合うように。
安心感と信頼感を「感じてもらえる大人」でありましょう。

ご清聴ありがとうございました。

公認心理師/スクールカウンセラー 安部 顕